

教科	総合的な探究の時間	科目	総合的な探究の時間 6	履修区分	選択	使用教科書	
添削指導回数	1	面接指導回数	1	単位認定試験回数		副教材等	

学習の目標

AIなどのテクノロジーの発達が社会にもたらす影響について理解し、これらが今後社会にどのような変革をもたらすか考察する。さらに、膨大なデータを収集・解析し、それらがもたらす情報を活用することにより、今後どのような新しいサービスや価値が生み出される可能性があるか主体的に学ぶ。

学習に取り組む際の注意事項

添削指導	提出期間に間に合うように提出する（システムは1枚ずつ、紙は6枚ずつ）。
面接指導	各期に開講する番号を確認し計画的に出席する。 ●視聴票による減免なし
単位認定試験	単位認定試験なし
単位修得	（認定）に当たっての基準
評価方法	各単元ごとに3観点で評価（A・B・C）し、すべての学習内容修了後に総合的に判断する。

学習内容・計画

単元名（教科書ページ）	添削指導	面接指導				単位認定試験	観点別評価	
	No.	開講番号	開講期	視聴票 NHK高校講座	観点		評価規準	
テクノロジーの発達が社会にもたらす影響への考察とそれらを活用するための基礎的な知識	1	①	I・II・III期			知識・技能	テクノロジーの発展とそれが社会にもたらした影響について、正確に理解することができた。データの利活用の重要性やそれらを正しく使う責任について理解し、個人や企業の経済活動において、テクノロジーの発達による恩恵によって社会が日々進化していることに気付くことができた。	
						思考・判断・表現	課題の解決に必要な情報を、目的に応じた手段を選択して収集し、類別して蓄積することができた。AIの特徴について整理し、活用する際のメリットやデメリットを比較して分析することができた。相手や目的・意図に応じて、論理的に表現し、学習活動を振り返って、学習や生活に生かしている。	
						主体的に学習に取り組む態度	データをを利活用する意義を理解しそれらを進んで守るとともに、それらの活用方法のさらなる可能性について主体的に学ぼうとしている。データサイエンスと社会との関連性について着目し、自立した社会人として正しい活用方法について考え、社会を発展させるためのさらなる方法を模索しようとしている。	